

# 1 総括

## 1-1 沿革

年 月 日	記 事
平成	
5～	木材関係試験研究調査開始
8	木材試験研究に関する基本構想策定
9	木材試験研究体制整備基本計画策定
10～11	基本設計・実施設計
11～12	建設工事
13. 4. 1	木材利用技術センター開所 初代所長大熊幹章就任
8. 9	開所式
8. 10	スギシンポジウム 2001 を都城市で開催
14. 4	乾燥材生産指導員配置
4. 26	ウッディランド開所式
5. 1	客員研究員制度導入
5. 1	研修生制度導入
7. 10	皇太子同妃両殿下ご視察
15. 3. 10	スギシンポジウム 2003 を宮崎市で開催
4. 1	2代目所長有馬孝禮就任
11. 14	木質資源に係る国際懇話会開催
16. 2. 12	スギシンポジウム 2004 を宮崎市で開催
4	都市エリア産学官連携促進事業が採択（当センターがコア研究室、有馬所長が研究総括に就任）
7	第10回木質構造国際会議（WCTE）の本県開催が決定
11. 27	木の建築フォーラム／都城・スギシンポジウム 2004 を都城市で開催
17. 8. 22～23	日本木材学会九州支部大会をセンターで開催
18. 2. 16	スギシンポジウム 2006 を宮崎市で開催
19. 2. 13	スギシンポジウム 2007 を宮崎市で開催
19. 6.	先端技術を活用した農林水産研究高度化事業が採択（当センターが中核機関、有馬所長が研究総括に就任）
11. 6	スギシンポジウム 2007 を宮崎市で九州木材業振興対策協議会と共催
20. 6. 2～4	第10回木質構造国際会議（WCTE）が宮崎市で開催され、事務局を担う
12. 17	日中韓3カ国セミナーをセンターで開催
12. 18	スギシンポジウム 2008 を宮崎市で開催
21. 12. 10	スギシンポジウム 2009 を宮崎市で日本木材学会九州支部と共催
22. 3. 17～19	第60回日本木材学会大会が宮崎市で開催され、事務局を担う

## 1-1 沿革(つづき)

年 月 日	記 事
22. 5	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業が採択（センターが中核機関、飯村副所長（技術）が研究総括に就任）
10. 29	スギシンポジウム 2010 を都城市で開催
23. 4. 1	3代目所長飯村豊就任
10. 18	宮崎大学工学部と「連携・協力に関する協定」を締結
10. 20	京都大学生存圏研究所と「連携・協力に関する協定」を締結
11. 10	センター開所 10周年記念行事開催 センター開所 10周年記念スギシンポジウム 2011 を都城市で、日本木材学会九州支部と共催開催
24. 11. 28	スギシンポジウム 2012 を宮崎市で開催
25. 4. 1	木構造相談室を新設
25. 11. 1	宮崎大学農学部森林緑地環境科学科及び宮崎県林業技術センターと「連携・協力に関する協定」を締結
26. 1. 14	スギフォーラム 2014 in 福岡を開催
27. 2. 7	「都市の森林」フォーラムを川崎市で開催

## 1-2 業務の概要

当センターは、スギを中心とする県産材の効率的活用、需要拡大を図るため、木材関連産業の技術の向上及び新製品の開発支援、新構法の開発等に取り組んでいます。

組織は1課3部体制で、企画管理課は、予算の編成・執行、給与、旅費、庁舎管理等のほか、試験研究の企画・連絡調整、各技術相談の窓口業務。材料開発部は、木質バイオマスの有効活用、木材の化学的利用、木材の耐久性に関する試験研究及び指導。木材加工部は、木材加工技術の高度化、地域材を用いた新製品の開発、木材製品の性能評価。構法開発部は、スギ材の特徴を活かした建築システムの構築、木造建築物の耐震性、耐久性の解明、木造建築物の構法開発。などに取り組んでいます。

また、平成25年度からセンター内に木造公共建築物の木造化や内装木質化を促進するための木構造相談室を設置し、今年度は232件について指導・助言等を行いました。

平成26年度の主な取組として、材料開発部は、スギ材の耐久性評価試験や半炭化物の利用法の開発、スギ精油の効率的回収法の開発などの研究を行いました。

スギ材の耐久性評価試験は、目視によるスギ材の腐朽度判定等を行い、高温乾燥材の腐朽は生材との違いが見られないことが分かりました。

半炭化物の利用法の開発は、木材の総合的利用を目指し、実用化を念頭に小型炭化炉を使った半炭化物を作成し、その際の消費エネルギーや半炭化物の熱収量などを明らかにしました。

スギ精油の効率的回収法の開発は、スギ精油を低コストで収集するために、木材乾燥機の排出蒸気を空気冷却する簡易な装置を開発し県内の製材工場へ導入しました。

木材加工部は、スギの特性を活かしたテーパネジによる製品開発や県内主要地域における丸太の材質特性の解明、大径材から得られた心去り材の乾燥方法の開発などの研究を行いました。

スギの特性を活かしたテーパネジによる製品開発は、家具・ねじ・金物企業等と共同でテーパねじを用いたスギテーブルを完成させ、その結果を基にスギと炭素繊維を複合化した4mテーブルを開発しました。

県内主要地域における丸太の材質特性の解明は、今年度は広渡川流域の丸太の特性を調査し、県南地域丸太のヤング係数が上昇傾向にあることを確認しました。

大径材から得られた心去り材の乾燥方法の開発及び力学的性能の解明は、重量選別毎に期間を設定して天然乾燥と人工乾燥を併用した結果、乾燥効率の上昇に対する重量選別効果が高いことが分かりました。

構法開発部では、木構造相談室での木造化の技術支援や県産スギのツーバイフォー枱材の開発、CLTの接合部の開発などの研究を行いました。

木構造相談室では、美郷町立北学園の木造校舎建設工事に係る木材調達や現場における木材の品質確保のための技術支援、小林市新庁舎の建て替え計画の設計に係る技術支援などを行いました。

県産スギのツーバイフォー枱材の開発は、県産スギを枱材に使った耐力壁パネルでせん断試験を行い、必要な強度があることを実証しました。

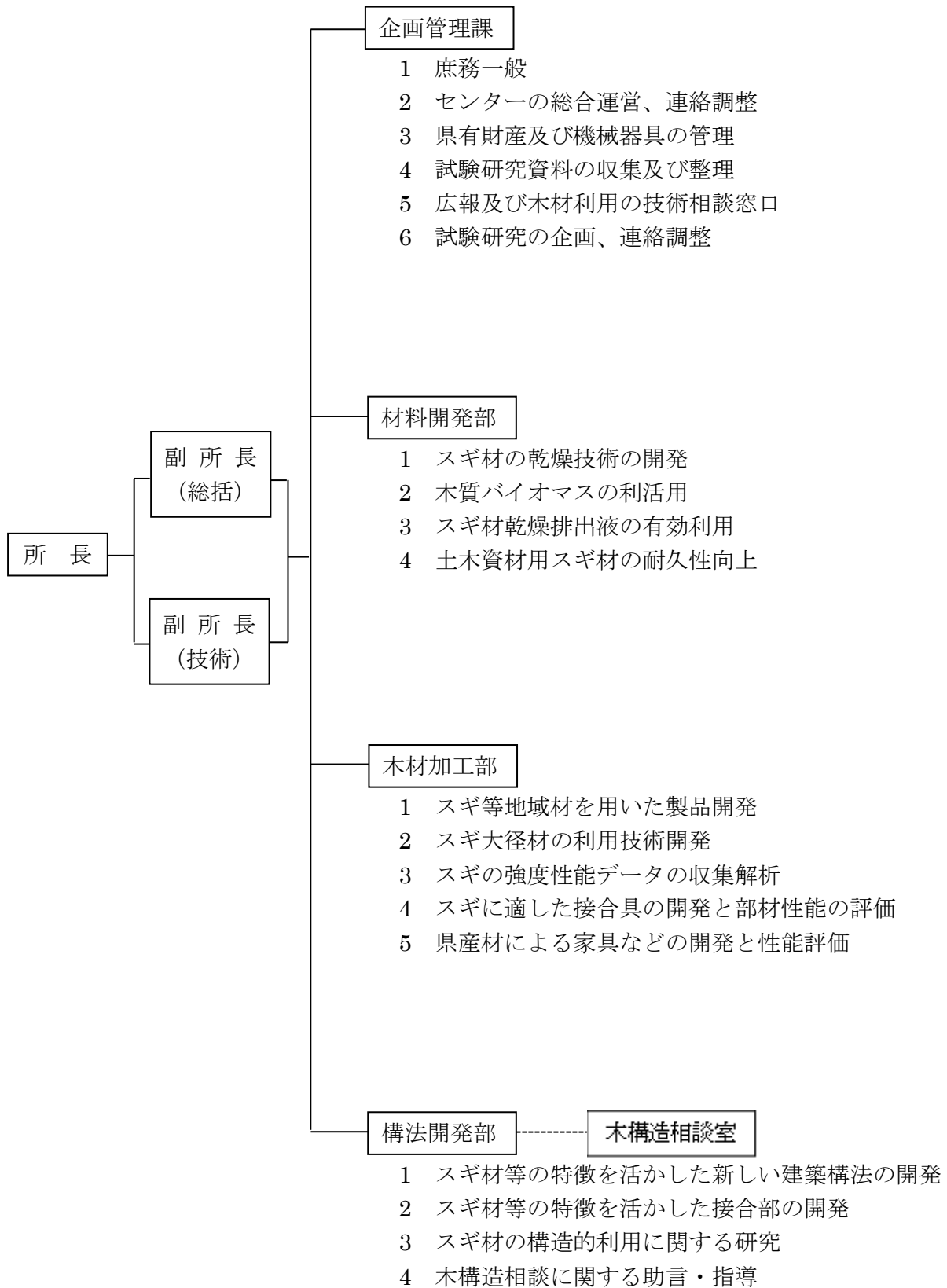
この結果、県産スギが住宅メーカーのツーバイフォーたて枱材に採用されました。

CLTの接合部の開発は、昨年から引き続き、ねじ型接合具の大型ラグスクリーボルト(LSB)を使った研究を行っており、CLTの接合部の使用を想定して2本を使い各種条件を変えて引き抜き実験を実施しました。複数のLSBの使用条件ごとの低減係数を提案しました。

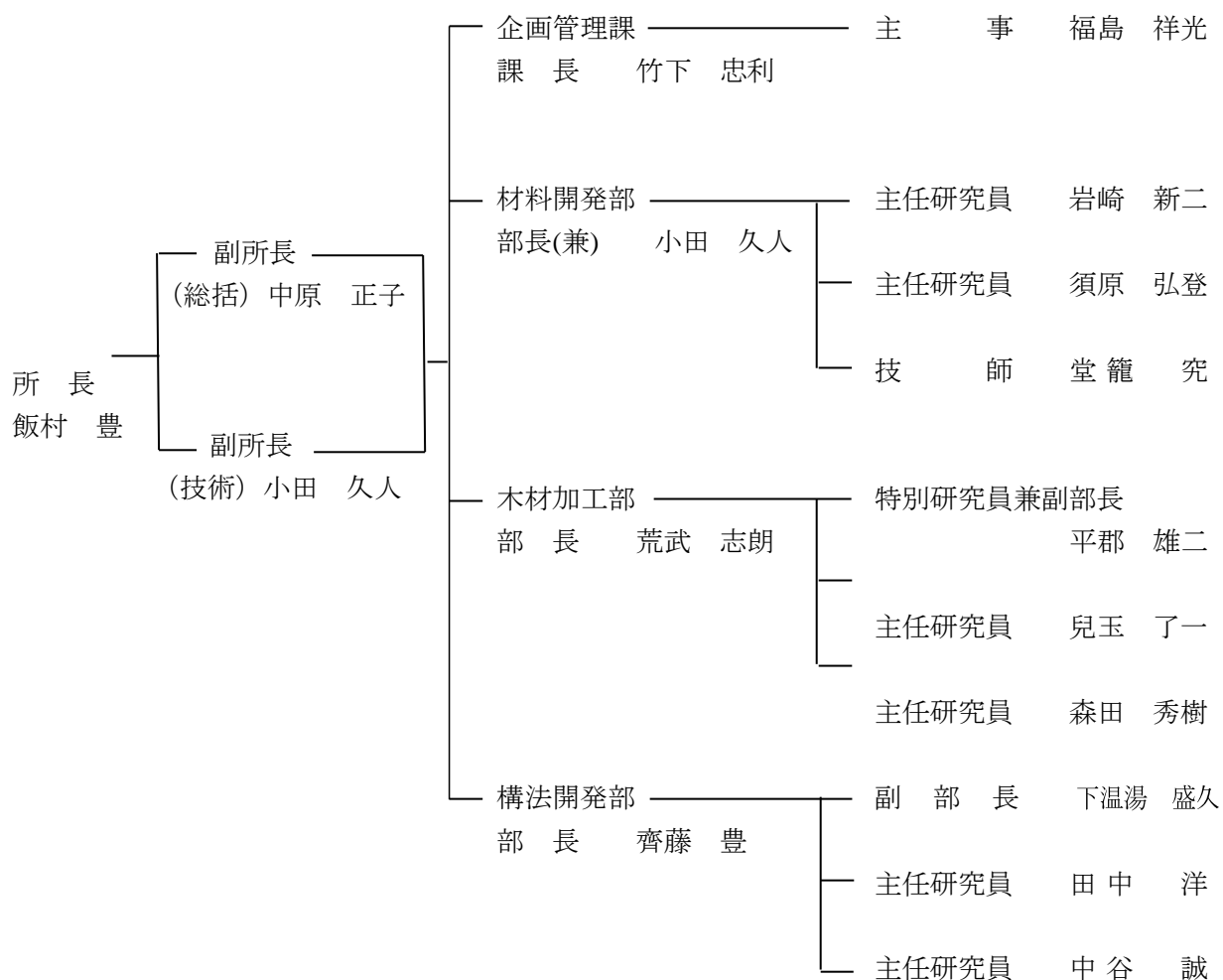
その他、1,412名の視察・見学者等の案内、174件の依頼試験、795件の技術相談(木構造相談も含む)、大学や民間企業などとの共同研究に取り組むとともに、平成26年11月の川崎市との連携協定締結を契機に川崎市において「都市の森林」フォーラム、さらには、宮崎大学、林業技術センター、九州森林管理局森林技術センターとの合同研究成果報告会などを開催しました。

# 1-3 組織

## 1-3-1 事務分掌



### 1-3-2 職員配置表



### 1-3-3 職員現況表

区 分	職 員			非常勤職員 (その他)	臨時職員	日々雇用 職員
	事 務	技 術	計			
所 長		1	1	3	1	4
副 所 長	1	1	2			
企画管理課	1	1	2			
材料開発部		3	3			
木材加工部		4	4			
構法開発部		4	4			
計	2	14	16	3	1	4

※ 臨時職員と日々雇用職員は、年度を通して最多雇用時の数を記載

## 1-4 施設

- 所在地 〒885-0037 都城市花繰町 21 号 2 番 電話 0986-46-6041 FAX 0986-46-6047 E-mail mokuzai-center@pref.miyazaki.lg.jp
- 土地面積 34,309.81 m<sup>2</sup>
- 建物延面積 5,147.98 m<sup>2</sup>
- 木材使用量 1,716m<sup>3</sup> 内 

構造用製材 (スギ・ヒノキ)	628 m <sup>3</sup>
構造用集成材 (スギ)	725 m <sup>3</sup>

区分	構造	主要諸室	面積	架構の特徴
管理棟	木造平屋	エントランス 展示室 大・小会議室 所長室 事務室 応接室 倉庫	1,426.46m <sup>2</sup>	スギ構造用集成材ボックス梁を用いた大空間の木造架構
研究棟		研究室 ワーキングルーム 資料室	724.71m <sup>2</sup>	スギ構造用集成材立体トラスを用いたフレキシブルな空間
総合実験棟		材質試験室 化学試験室 耐候性試験室 住環境試験室 主電気室	725.75m <sup>2</sup>	スギ構造用集成材トラス組
構造実験棟		強度試験室	482.76m <sup>2</sup>	スギ構造用集成材と合板による折板構造架構
加工実験棟		機械加工試験室 乾燥試験室 副電気室 機械室	913.68m <sup>2</sup>	構造用集成材変形トラス組
材料実験棟		製造試験室 長期性能試験室 プロジェクト試験室	777.60m <sup>2</sup>	構造用集成材変形トラス組
その他		車庫	97.02m <sup>2</sup>	
合計			5,147.98m <sup>2</sup>	

## 1-5 予算

### 1-5-1 歳入予算

収入済額は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	収 入 額	摘 要
使用料及び手数料	2,556,475	依頼試験 174 件、設備使用 23 件
公有財産使用料	50,508	電柱敷、電話柱敷、自動販売機
諸 収 入	2,333,951	木くず、電気料（研究、自動販売機）、雇用保険料、企業局外部資金
合 計	4,940,934	

### 1-5-2 外部資金等受入

(単位：円)

種 類	事 業 名	金 額	摘 要
宮崎県企業局	試験研究機関 連携推進事業	2,000,000	木材乾燥及び炭生産時に発生する油脂 ・タール類の効果的活用に関する研究
合 計		2,000,000	

### 1-5-3 歳出関係

予算執行額は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	センター執行分	本課執行分	計
報 酬	11,267,650		11,267,650
給 料		67,020,900	67,020,900
職 員 手 当 等	1,305,000	35,890,818	37,195,818
共 済 費	2,018,544	19,338,732	21,357,276
賃 金	4,917,650		4,917,650
報 償 費	80,000		80,000
旅 費	4,235,053		4,235,053
需 用 費	28,347,179		28,347,179
役 務 費	1,268,816		1,268,816
委 託 料	18,258,488		18,258,488
使用料及び賃借料	446,580		446,580
工 事 請 負 費			0
備 品 購 入 費	805,982		805,982
負担金補助及び交付金	160,518		160,518
公 課 費	15,600		15,600
合 計	73,127,060	122,250,450	195,377,510

## 1-6 各種会議・研究会・講習会への参加

日付	会議名	会場	出席者名
26.04.02	宮崎式中規模構法打合せ	宮崎市	中谷 誠
26.04.12	アサノ不燃打合せ	宮崎市	飯村 豊
26.04.15	北郷区小中一貫校設計協議	美郷町	齊藤 豊・下温湯盛久 兒玉了一・田中 洋
26.04.21 ~22	川崎市長との打合せ	川崎市	飯村 豊
26.04.22	川崎・宮崎連携打合せ	川崎市	飯村 豊
26.04.28 ~29	CLT-LSB 接合部委員会	京都市	中谷 誠
26.04.28	県家具工業会第1回検討委員会	都城市	荒武志朗・兒玉了一
26.05.02	日向市教育委員会設計協議	日向市	荒武志朗・齊藤 豊 平郡雄二・下温湯盛久 堂籠 究
26.05.08 ~09	宮崎式工法委員会	千葉県	中谷 誠
26.05.09 ~10	九州の木になる研究会	大川市	飯村 豊・兒玉了一 森田秀樹
26.05.10	炭素繊維補強家具打合せ	大川市	飯村 豊
26.05.12	川崎市の宮崎視察事前打合せ	宮崎市	飯村 豊
26.05.13 ~14	林試協研究担当者会議	熊本市	小田久人・平郡雄二 須原弘登・田中 洋
26.05.16	建築行政連絡会議	宮崎市	下温湯盛久
26.05.18	木で未来！シンポジウム	宮崎市	田中 洋
26.05.19	第4回都城高専・宮崎県連携協議会	都城市	小田久人・竹下忠利 堂籠 究
26.05.20	スギ張弦梁打合せ	都城市	飯村 豊
26.05.21	山村木材振興課打合せ(炭素繊維)	宮崎市	兒玉了一
26.05.22 ~23	九州建築審査会会長会議	宮崎市	下温湯盛久
26.05.24	スギ非住宅設計打合せ	福岡市	飯村 豊
26.05.29 ~31	大径材利用勉強会内容事前打合せ	東京都	飯村 豊
26.05.30	スギ・炭素繊維複合材今後の進め方打合せ	東京都	飯村 豊
26.05.31	平成26年度補助事業打合せ	東京都	飯村 豊
26.06.06	公共建築物需要開発セミナー	福岡市	齊藤 豊
26.06.10 ~13	フォークリフト運転技能講習会	宮崎市	平郡雄二
26.06.10	花峯橋関係協議	日南市	荒武志朗・齊藤 豊 下温湯盛久・堂籠 究
26.06.19 ~21	玉掛け技能講習会	宮崎市	平郡雄二



## 1-6 各種会議・研究会・講習会への参加（つづき）

日付	会議名	会場	出席者名
26.06.19 ~20	ねじ開発打合せ	大阪市	森田秀樹
26.06.20 ~22	Korea Wood Show	韓国	田中 洋
26.06.21	平成 26 年度林野庁補助事業打合せ	東京都	飯村 豊
26.06.23	宮崎大学との試験研究連携協議会	宮崎市	小田久人・竹下忠利
26.06.23	試験研究等連絡会議事前打合せ	宮崎市	竹下忠利
26.06.26	林技セ試験研究等連絡調整会議幹事会	宮崎市	田中 洋
26.06.26	木技セ試験研究等連絡調整会議幹事会	宮崎市	小田久人・竹下忠利 荒武志朗・齊藤 豊 福島祥光
26.07.02 ~03	九州林試協場所長会議	熊本市	小田久人
26.07.03	えびの小中学校設計協議	えびの市	下温湯盛久
26.07.04	都城市建築課木材振興協議	都城市	下温湯盛久
26.07.07	県立試験研究機関企画担当者会議	宮崎市	竹下忠利
26.07.07 ~08	スギ・炭素繊維複合材開発打合せ	東京都	飯村 豊・森田秀樹
26.07.10	森林・林業・木材産業講演会	宮崎市	田中 洋
26.07.15	バイオマス研究会	宮崎市	小田久人・須原弘登 堂籠 究
26.07.15	小林市役所設計協議	小林市	下温湯盛久
26.07.15	県家具工業会第 2 回開発委員会	都城市	荒武志朗・兒玉了一
26.07.17	都城木材との県木連事業打合せ	都城市	小田久人・荒武志朗 平郡雄二・兒玉了一
26.07.19	宮崎県技術研鑽セミナー講演	宮崎市	荒武志朗
26.07.22	CLT 等新たな製品・技術開発協議	宮崎市	齊藤 豊・下温湯盛久
26.07.23	宮崎スギプロモーションビデオ制作打合せ	宮崎市	竹下忠利
26.07.24	ウエキ産業（株）との打合せ	大川市	兒玉了一・森田秀樹
26.07.25	新エネルギー導入促進協議会	宮崎市	小田久人
26.07.28 ~29	林野庁公募事業に関連しスギ・炭素繊維複合材及びユニット開発打合せ	東京都	飯村 豊・森田秀樹
26.07.31	「チームみやざきスギ」推進本部会議	宮崎市	小田久人
26.07.31 ~08.01	宮崎式工法委員会	東京都	中谷 誠
26.08.01	環境森林部試験研究等連絡調整会議	宮崎市	小田久人・竹下忠利 荒武志朗・齊藤 豊 平郡雄二

## 1-6 各種会議・研究会・講習会への参加（つづき）

日付	会議名	会場	出席者名
26.08.05	福岡教育大学（大内先生）打合せ	福岡県	兒玉了一
26.08.05 ~06	CLT-LSB 接合部委員会	京都府	中谷 誠
26.08.06	都城盆地窒素削減協議会調査部会	宮崎市	小田久人
26.08.08 ~16	木質構造国際会議（WCTE2014）	カナダ	荒武志朗
26.08.20 ~21	スギ・炭素繊維複合材の構造設計法打合せ	徳島市	飯村 豊・森田秀樹
26.08.20	小林市役所設計協議	宮崎市	下温湯盛久
26.08.25	大径材法面パネル製作打合せ等	日南市	平郡雄二
26.08.25	公共施設等地域材利用推進部会	宮崎市	齊藤 豊・下温湯盛久
26.08.26	九州木になる木研究会	大川市	飯村 豊・森田秀樹
26.08.26	第1回花峯橋整備検討委員会	日南市	小田久人・平郡雄二 下温湯盛久
26.09.02	林業研究推進九州ブロック会議	熊本市	小田久人
26.09.02	延岡市木材推進セミナー（CLT 関係）	延岡市	竹下忠利
26.09.04	宮崎式工法委員会	東京都	中谷 誠
26.09.07 ~10.08	森林総合研究所受託研修	つくば市	堂籠 究
26.09.08	営繕課協議	宮崎市	下温湯盛久
26.09.11 ~14	建築学会大会	神戸市	中谷 誠
26.09.11 ~12	第21回日本木材学会九州支部大会参加	熊本市	小田久人・兒玉了一 田中 洋
26.09.16	大径材法面パネル製作打合せ	串間市	平郡雄二
26.09.22	家具材料試験打合せ	宗像市	森田秀樹
26.09.24	住宅等における新たな製品開発委員会	宮崎市	小田久人・竹下忠利 荒武志朗・齊藤 豊 平郡雄二・兒玉了一 森田秀樹
26.09.25	教育研修・総合防災センター設計協議	宮崎市	齊藤 豊・下温湯盛久
26.09.29	特許打合せ	宮崎市	飯村 豊・森田秀樹
26.10.01	和光コンクリート研究打合せ	宮崎市	荒武志朗
26.10.02 ~03	京大全国共同利用研究	京都府	中谷 誠

## 1-6 各種会議・研究会・講習会への参加（つづき）

日付	会議名	会場	出席者名
26.10.03	宮崎交通加速化事業打合せ	宮崎市	小田久人
26.10.06	混構造推進 WG 会議（作業部会）	宮崎市	飯村 豊・齊藤 豊 下温湯盛久
26.10.06 ~07	木製土木構造物現地調査・セミナー	大阪市	平郡雄二・岩崎新二
26.10.07	県木連大径材事業打合せ	宮崎市	小田久人
26.10.09	九州の木になる木研究会	大川市	小田久人・兒玉了一 森田秀樹
26.10.10	家具試験打合せ	宗像市	小田久人・兒玉了一 森田秀樹
26.10.14 ~15	株式会社スミダ半炭化打合せ	大牟田市	小田久人・竹下忠利 須原弘登
26.10.17 ~18	宮崎式工法会議	東京都	中谷 誠
26.10.20	県産材利用推進幹事会	宮崎市	齊藤 豊・下温湯盛久
26.10.21	北諸県地区木材需要拡大協議会	都城市	竹下忠利・岩崎新二
26.10.22 ~24	色材協会発表	名古屋市	岩崎新二
26.10.23	スギ炭素繊維複合材開発取組法事前打合せ	東京都	飯村 豊・森田秀樹
26.10.24	学校調度品木質化ワーキング	宮崎市	荒武志朗・兒玉了一
26.10.27	第2回 CLT 意見交換会	都城市	小田久人・竹下忠利 荒武志朗・下温湯盛久
26.10.27	水源地域保全シンポジウム	宮崎市	中原正子・福島祥光
26.10.28	宮大工学部との連携協議会	宮崎市	飯村 豊・竹下忠利
26.10.28	MRT との川崎・宮崎連携協定についての打合せ	宮崎市	竹下忠利
26.10.28	森林林業フォーラム	宮崎市	田中 洋
26.10.28	加速化事業打合せ（宮崎交通）	宮崎市	小田久人
26.10.30	国土開発コンサルタント花峯橋打合せ	都城市	小田久人・荒武志朗 平郡雄二
26.10.30	宮崎式工法会議	東京都	中谷 誠
26.10.30 ~10.31	塗装工学分科会	福井県	岩崎新二
26.11.04	県産材利用推進委員会	宮崎市	齊藤 豊
26.11.06	大径材強度測定打合せ	宮崎市	平郡雄二
26.11.07	県立試験研究連絡会議	宮崎市	小田久人・竹下忠利
26.11.07	林業関試験研究機関合同発表会打合せ	宮崎市	竹下忠利
26.11.07	小林市役所設計協議	小林市	荒武志朗・齊藤 豊 平郡雄二
26.11.12 ~13	地域木材産業研究会	東京都	田中 洋

## 1-6 各種会議・研究会・講習会への参加（つづき）

日付	会議名	会場	出席者名
26.11.13	試験研究機関副所長等会議	宮崎市	中原正子
26.11.14	県木連事業リーダー会議	都城市	荒武志朗・森田秀樹
26.11.14	第2回花峯橋整備検討委員会	日南市	小田久人・平郡雄二 下温湯盛久
26.11.19	大径材測定打合せ	日南市	平郡雄二
26.11.21	日向商工会議所会議	日向市	下温湯盛久
26.11.22	木青会大径材事業打合せ	都城市	飯村 豊
26.11.22	杉コレクション総括ディスカッション・意見交換会	都城市	飯村 豊
26.12.02 ~03	建築確認に関する講習会	福岡市	下温湯盛久
26.12.03 ~04	京大全国共同利用研究	宇治市	中谷 誠
26.12.02	木材関係打合せ	宮崎市	平郡雄二
26.12.10	森林・木材関係機関合同研究発表会	宮崎市	岩崎新二・兒玉了一
26.12.10	北郷小中学校設計協議	美郷町	下温湯盛久
26.12.11 ~12	スギフォーラム等事前打ち合わせ等	川崎市 東京都	竹下忠利
26.12.11	試験研究機関副所長等会議	宮崎市	小田久人・中原正子
26.12.11	宮崎式工法会議	都城市	中谷 誠・田中 洋
26.12.11 ~12	日本 MRS 学術シンポジウム	横浜市	荒武志朗
26.12.13	張弦梁打合せ	宮崎市	飯村 豊
26.12.15	中部地区木材需要拡大協議会	宮崎市	田中 洋・下温湯盛久
26.12.16	CLT-LSB 会議	東京都	中谷 誠
26.12.17	第51回九州地区治山林道研究発表会	宮崎市	平郡雄二
26.12.21 ~23	CLT 普及シンポジウム	真庭市	田中 洋
26.12.24	都城木材精油回収装置打合せ	都城市	小田久人・須原弘登
27.01.14	県木連事業第3回部会	都城市	小田久人・荒武志朗 平郡雄二・兒玉了一
27.01.14	第3回CLT意見交換会	都城市	小田久人・竹下忠利 荒武志朗・齊藤 豊
27.01.20	全国林試協場所長会議	東京都	小田久人
27.01.21	宅地判定士講習会	宮崎市	下温湯盛久
27.01.21	林業技術シンポジウム	東京都	小田久人
27.01.22	三菱商事他との意見交換会	都城市	飯村 豊・小田久人 竹下忠利・荒武志朗 兒玉了一・森田秀樹

## 1-6 各種会議・研究会・講習会への参加（つづき）

日付	会議名	会場	出席者名
27.01.28	川崎フォーラム打合せ	宮崎市	飯村 豊
27.01.28 ~30	京大生存圏共同利用研究	宇治市	中谷 誠
27.02.03	日向商工会議所会議	日向市	下温湯盛久
27.02.03	県木連合同WG	都城市	飯村 豊・小田久人 荒武志朗・齊藤 豊 平郡雄二・兒玉了一 森田秀樹
27.02.04	大丸跡地の混構造による木材利用方法提案	都城市	竹下忠利・斎藤 豊
27.02.06	大径材シンポジウム打合せ	宮崎市	竹下忠利
27.02.07 ~08	「都市の森林」フォーラム	川崎市	飯村 豊・荒武志朗 竹下忠利・岩崎新二 下温湯盛久
27.02.10	県木連事業 4m テーブル検討会	都城市	荒武志朗・兒玉了一 森田秀樹
27.02.12	青島亜熱帯植物園設計協議	宮崎市	田中 洋・中谷 誠 下温湯盛久
27.02.16 ~17	林野庁支援事業合同報告会	東京都	飯村 豊・小田久人 竹下忠利・荒武志朗
27.02.19	木質ペレット開発事業打合せ	宮崎市	小田久人・須原弘登
27.02.20	宮崎高通バス木質化協議会	宮崎市	小田久人
27.02.22 ~24	DOL-LSF 成果発表会	宇治市	中谷 誠・須原弘登
27.02.23 ~24	県木連事業用務（研究会）	大川市	飯村 豊・兒玉了一 森田秀樹
27.02.25	県木連事業委員会	宮崎市	飯村 豊・小田久人 竹下忠利・荒武志朗 齊藤 豊・平郡雄二 兒玉了一・森田秀樹 田中 洋
27.02.25	CLT-LSB 会議	大阪市	中谷 誠
27.02.28	内田洋行・岡村製作所オフィス家具打合せ	東京都	飯村 豊
27.03.06 ~07	CLT-LSB 研究打合せ	宇治市	中谷 誠
27.03.09	県木連大径材事業打合せ	宮崎市	飯村 豊
27.03.09	小林市役所設計打合せ	小林市	森田秀樹・下温湯盛久
27.03.16	半炭素化物燃焼試験打合せ	宮崎市	小田久人・須原弘登
27.03.17 ~19	第 65 回日本木材学会大会	東京都	小田久人・荒武志朗 平郡雄二・中谷 誠 堂籠 究
27.03.17	日向市仮設住宅協議	宮崎市	竹下忠利・下温湯盛久
27.03.18	産学官連携フォーラム	宮崎市	田中 洋

## 1-6 各種会議・研究会・講習会への参加（つづき）

日付	会議名	会場	出席者名
27.03.19	木材需要対策協議会	宮崎市	小田久人
27.03.25	H27 計画県家具工業会との打合せ	都城市	兒玉了一
27.03.27 ~28	第3回 CLT フォーラム、耐震博	東京都	中谷 誠

## 1-7 委員等への就任状況

会議等の名称	職名	氏名
木質構造国際会議調整委員会 (WCTE-CC)	委員	荒武志朗
CLT・住宅における新たな製品・技術の開発促進委員会乾燥・強度性能WG	副リーダー	荒武志朗
CLT・住宅における新たな製品・技術の開発促進委員会乾燥・強度性能WG	副リーダー	森田秀樹
日本木材加工技術協会九州支部	理事	小田久人
日本木材学会九州支部	理事	小田久人
都城市建築審査会	副会長	下温湯盛久
CLT・住宅における新たな製品・技術の開発促進委員会乾燥・強度性能WG	委員	平郡雄二
CLT・住宅における新たな製品・技術の開発促進委員会乾燥・強度性能WG	委員	兒玉了一
長尺梁用大断面製材「継手開発」	委員長	飯村 豊
公共施設等地域材利用推進部会	部会長	齊藤 豊
公共施設等地域材利用推進部会	委員	下温湯盛久
九州の木になる木研究会	会長	飯村 豊
九州の木になる木研究会	委員	兒玉了一
九州の木になる木研究会	委員	森田秀樹
宮崎農商工連携ファンド事業審査委員会	委員	小田久人
グリーン公共事業推進部会	委員	荒武志朗
「製材を用いた学校の床構法」開発	委員長	飯村 豊
花峯橋整備検討委員会	委員	小田久人
九州林試協木材加工部会・バイオマス分科会	会長	須原弘登

## 1-8 設 備 (主要研究機器)

機 器 名	型 式	メーカー名	設置日	価格 (円)	区 分
GC-MS	JMS-AMSUN200	日本電子	H13 4/1	17,325	国 補 ※1
分光測色計	SQ2000	日本電色	H13 4/1	2,142	国 補 ※1
低真空走査型電子顕微鏡	S-3000N	日立製作所	H13 4/1	9,240	国 補 ※1
耐候性試験機	SX75-A	スガ試験機	H13 4/1	15,225	国 補 ※1
超臨界流体抽出装置	SCF-201他	日本分光	H13 4/1	9,975	国 補 ※1
木工プレス (高周波加熱装置付きホットプレス)	FTYBL4-150-60SP	山本鉄工所	H13 4/1	22,575	国 補 ※1
長期耐力試験装置 (クリープ試験装置)	TDS-303他	東京測器研究所	H13 4/1	13,540	国 補 ※1
切削試験機 (ナイフリングフレーカー)	PZ8型	ウェスタン・トレーディングパルマン	H13 4/1	12,600	国 補 ※1
熱伝導率測定装置	HC-074-200A他	英弘精機	H13 4/1	5,791	国 補 ※1
実大圧縮試験機	A-200-B1	前川試験機製作所	H13 4/1	8,348	国 補 ※1
実大引張試験機	HZS-100-LB4	前川試験機製作所	H13 4/1	25,725	国 補 ※1
実大強度試験機	WU-1000. TK21型	東京衝機製作所	H13 4/1	57,960	国 補 ※1
断熱防露試験機	TBR-3 TBU-2	ダバイエスペック	H13 4/1	23,625	国 補 ※1
水密・気密試験装置	BPX-FM-1	スガ試験機	H13 4/1	26,565	国 補 ※1
実大構造試験装置	アクチュエータシステム他	鷲宮製作所	H13 4/1	58,485	国 補 ※1
可視紫外線分光光度計	U-2010	日立製作所	H13 10/31	1,285	国 補 ※1
万能試験機	AG-100KNI型	島津製作所	H13 3/26	16,800	国 補 ※1
顕微鏡画像総合計測システム	E6TUV-21-1他	ニコン	H13 3/26	5,954	国 補 ※1

(区分) 県単：県単独事業

国補：国庫補助事業

※1：林業構造改善事業



## 1-8 設 備 (つづき)

機 器 名	型 式	メーカー名	設置日	価格 (円)	区 分
デンシトメータ	3CS-PC	JLオートメーション	H13 3/26	18,375	国 補 ※1
高温乾燥装置	SDM-V-150SM	東北通商	H13 3/26	10,815	国 補 ※1
データロガー (強度)	THS-1100他	東京測器研究所	H13 3/26	12,665	国 補 ※1
データロガー	TDS-303他	東京測器研究所	H13 3/26	9,307	国 補 ※1
万能投影機	MF-1020TH	ミットヨ	H13 3/26	2,762	国 補 ※1
木材真空・加圧含浸装置	SBK-450AB	ヤスジマ	H13 3/26	13,440	国 補 ※1
軟X線撮影装置	EMBW特型	ソフテック	H13 3/26	8,978	国 補 ※1
横切り丸のこ盤	KS-T1300TW型	桑原製作所	H13 3/26	1,764	国 補 ※1
環境試験室 (恒温恒湿室)	MTH-140HP	サンヨー	H13 3/26	9,450	国 補 ※1
イサイジング機	SBE	ヤスジマ	H13 3/26	8,295	国 補 ※1
年輪X線解析試料切削装置	SPECTTRUM-システムB	HBC radiomatic	H14 2/28	7,035	国 補 ※1
帯のこ盤 (中型)	BSA-1100	リョービ	H13 3/26	1,050	国 補 ※1
ほぞ取り盤	MT-4	平安コーポレーション	H13 8/31	2,720	国 補 ※1
ロータリーレース	BV-3SA+TY30	田之内鉄工	H13 3/26	44,909	国 補 ※1
減圧加圧装置	SBK-500S	ヤスジマ	H14 3/8	8,295	国 補 ※1
マイクロスコープ	H-8000	キーエンス社	H13 10/31	7,455	県 単
ホットプレス	TA-125-W	山本鉄工所	H13 10/31	9,954	県 単
材料吸音率計測装置	4206	B&K	H13 10/31	5,287	県 単
蛍光顕微鏡装置	TCP-SP	ライカ社	H13 12/10	13,136	県 単

(区分) 県単：県単独事業  
 国補：国庫補助事業  
 ※1：林業構造改善事業

## 1-8 設 備 (つづき)

機 器 名	型 式	メーカー名	設置日	価格 (円)	区 分
木材乾燥機	MHB-5MR	九州オリンピック工業	H14 1/11	15,488	県 単
グレーディングマシン	MGFE251T	飯田工業	H14 3/22	12,216	県 単
表面圧密化熱処理装置	TA200-1 WAR	山本鉄工所	H14 3/22	26,880	県 単
水平振動試験装置	VTH-30	南九州向洋電気	H14 3/29	51,975	県 単
マイクロ波透過型センサ	LB-IT	飯田工業	H16 3/28	1,492	県 単
小型環境試験機	SH-221	エスペック	H23 6/22	1,152	県 単
データロガー (7台)	TDS-530-30H	東京測器研究所	H26 8/27	1,674	国 補 ※1
ガスクロマトグラフ質量分析計	7890B/5977A	Agilent	H26 10/28	12,906	国 補 ※1
万能材料試験機	AG-250KNXPlus	島津製作所	H27 2/6	12,096	国 補 ※1

(区分) 県単：県単独事業

国補：国庫補助事業

※1：林業構造改善事業

## 1-9 工業所有権等

職員が行った発明・考案で、特許法に基づき出願、登録申請され、又は申請中であるもの及び既に特許権を取得し、登録を完了したものは、次のとおりである。

	発 明 の 名 称	出 願		登 録		発明者
		番号・日付	経 過	番号・日付	経 過	
1	湾曲集成材の製造法方（湾曲集成材の製造方法及びその製造装置からH16.8.23変更）	2002-053606 H14.2.28	見なし取り下げ			大熊 幹章 飯村 豊 藤元 嘉安
2	木質深底容器とその製造方法（6cm）	2002-170726 H14.6.11	消滅			藤元 嘉安 稲田 啓次 〔(株)合電〕
	木質深底容器とその製造方法その1（PCTに基づく国際出願）	PCT/JP02/084 38 H14.8.21	国内移転			藤元 嘉安 稲田 啓次 〔(株)合電〕
	木質深底容器とその製造方法その1（台湾での出願）	192083 H14.8.22		H16.3.30 特許番号 192083	放棄	藤元 嘉安 稲田 啓次 〔(株)合電〕
	木質深底容器とその製造方法その1（PCTに基づく国際出願国内移行）	2004-511016 H14.8.21		H19.6.22 特許番号 第3972213		藤元 嘉安 稲田 啓次 〔(株)合電〕
3	木ダボとその製造方法及び木ダボを用いた接合方法	2002-354440 H14.12.5		H17.10.14 特許番号 第3728739	H20.9.29 放棄	飯村 豊 田中 洋
4	建物の防蟻構造、蟻道誘導構造及びシロアリ食害防止構造	2003-068694 H15.3.13		H19.7.27 特許番号 第3989388	H22.5.27 放棄	藤本 英人 落合 克紀 岩崎 新二
5	圧密を用いた幅ハギ板の製造方法	2003-328212 H15.9.19	見なし取り下げ			有馬 孝禮 藤元 嘉安 森田 秀樹
6	木材の乾燥排出液を利用した消臭剤	2003-328217 H15.9.19		H21.3.19 特許番号 第4278470		藤本 英人 小田 久人 落合 克紀
7	木質深底容器とその製造方法その2（10cm）（PCTに基づく国際出願）	PCT/JP2004/0 03382 H16.3.11	国内移転			藤元 嘉安 有馬 逸 〔(株)合電〕 落合 裕司 〔(株)合電〕
	木質深底容器とその製造方法その2（10cm）（台湾での出願）	93106627 H16.3.11	審査差し止め			藤元 嘉安 有馬 逸 〔(株)合電〕 落合 裕司 〔(株)合電〕
	木質深底容器とその製造方法その2（10cm）（PCTに基づく国際出願国内移行）	2006-510857 H16.3.11	名義変更	H22.2.5 特許番号 第4449065		藤元 嘉安 有馬 逸 〔(株)合電〕 落合 裕司 〔(株)合電〕

## 1-9 工業所有権等（つづき）

	発 明 の 名 称	出 願		登 録		発 明 者
		番号・日付	経 過	番号・日付	経 過	
8	面格子耐力壁の製造方法	2004-146446 H16.5.17	見なし取 り下げ			有馬 孝禮 藤元 嘉安 森田 秀樹
9	高含水率畜糞の処理方法	2005-250235 H17.8.4	見なし取 り下げ			藤本 英人
10	無機塩系シロアリ駆除剤およびそれを用いたシロアリ駆除方法	2005-311845 H17.10.26	見なし取 り下げ			藤本 英人
11	木材用接手及びこれを用いた接合方法	2006-042820 H18.2.20	見なし取 り下げ			飯村 豊 椎葉 淳 鈴木 達人 新日本製鉄(株)他
12	木材由来の抗ウイルス剤	2006-170652 H18.5.25	見なし取 り下げ			藤本 英人
13	接合材及びその製造方法、並びにそれを用いた構造及びその建築方法	2006-188249 H18.7.7	見なし取 り下げ			齊藤 豊
14	スギ精油を用いたゴキブリ忌避剤	2007-29815 H19.1.15	見なし取 り下げ			藤本 英人
15	心持ち角材の熱板プレスによる表面割れ抑制方法並びにそれを用いたその乾燥方法	2008-007870 H20.1.17	見なし取 り下げ			有馬 孝禮 小田 久人 松元 明弘
16	軽軟材用テーパーねじ	2012-046268 H24.3.2				飯村 豊 白 惠 琇

工業技術センター工芸支場時代に取得した特許

- ① 樹心を有する木材の乾燥方法（H9.8.8 特許登録）
- ② 製材品の簡易等級区分法（H12.4.28 特許登録）

## 1-10 技術移転

試験・研究の成果は民間企業等に技術移転を行っている。

年 度	内 容	関 係 企 業 等
平成 13年度	サンドーム日向	日向市、 宮崎ウッドテクノ(株)
	南郷くろしおドーム	南郷町、 宮崎ウッドテクノ(株)
		2 件
平成 14年度	スギ合わせ材の開発	木脇産業(株)、 ランバー宮崎(協)
	宮崎県知事校舎	宮崎県管財課、 宮崎ウッドテクノ(株)
	木質深底容器	(株)合電
	湾曲集成材の開発	丸十産業(株)
		4 件
平成 15年度	かりこぼうず大橋	宮崎県児湯農林振興局、西米良村、 宮崎ウッドテクノ(株)
	スギ心持ち柱材の高温乾燥技術	外山木材(株)ほか
	宮崎県西都原考古博物館	宮崎県営繕課、 マイウッド・ツー(株)ほか
	第55回全国植樹祭お野立所設計支援	宮崎県植樹祭準備室、設計事務所ほか
	木の花ドーム	宮崎県営繕課、(株)大建設ほか
	双子柱商品開発	デクスウッド宮崎事業(協)
		6 件
平成 16年度	木質断熱材パネル開発	国産材住宅協議会
	宮崎県立大宮高等学校体育館	宮崎県営繕課、 宮崎ウッドテクノ(株)
	綾てるはドーム	綾町、マイウッド・ツー(株)
		3 件
平成 17年度	日向地区外構木材検討会(ガイドブック、塩見橋手すり)	宮崎県日向土木事務所、日向木の芽 会、技術コンサルタント(株)
	宮崎スギспан表	宮崎県産材流通促進機構ほか
	日南市天福球場内野スタンド	日南市
	宮崎県立高鍋高等学校体育館	宮崎県営繕課、 宮崎ウッドテクノ(株)

## 1-10 技術移転（つづき）

年 度	内 容	関 係 企 業 等
平成 17年度	内装兼用断熱型枠仕様書	国産材利用開発協会
	宮崎県立学校普通教室用木製学童机	宮崎県家具工業会
	木材利用促進学習プログラム	宮崎大学、 宮崎県山村・木材振興課
	7	件
平成 18年度	日向市駅舎	宮崎県都市計画課、日向市、 宮崎ウッドテクノ(株)
	韓国への新軸組木造	ランバー宮崎(協)、 ウッドエナジー(協)
	木と鉄を組み合わせるハイブリッド木造の開発	(株)志多組、昭和鉄工(株)
	3	件
平成 19年度	構造用集成材の JAS 改正	ウッドエナジー(協)
	韓国へのスギ輸出民間支援「製材、集成材」	ランバー宮崎(協)、ウッドエナジ ー(協)
	大断面製材と鉄骨のハイブリッド構法(M 製材所工場 建設)	(株)志多組、昭和鉄工(株)、 ランバー宮崎(協)
	3	件
平成 20年度	スギ精油大量採取技術	オビスギ精油利用促進協議会
	スギーヒノキ異樹種集成材	ウッドエナジー(協)
	サウスウッド宮崎協同組合木造新築工事	志多一級建築事務所、 ランバー宮崎(協)
	スギ LVL 内装兼用型枠	(株)大三商行サンテック事業部
	日南市天福公園内投球練習場屋根トラス設計施工	日南市、丸彦渡辺・松尾建設 J V
	日南市夢見橋	日南市、宮崎県油津港湾事務所、(株) 熊田原工務店
	6	件
平成 21年度	JA 西都農産物直売所 ファーマーズマーケット	JA 西都
	三股町産業会館	三股町
	スギ精油の芳香剤利用	オビスギ精油利用促進協議会
	スギ精油の蜜蝋ワックス	(有)西澤養蜂場
	4	件

## 1-10 技術移転（つづき）

年 度	内 容	関 係 企 業 等
平成 22年度	RC造共同住宅における内装木質化	久保産業(株)
	木造温室	(株)ハルコーポレーション
	製材トラスチップ工場	(有)谷明産業
	大径材から得られたスギ側面定規挽き材	(株)もくみ
	4	件
平成 23年度	ビニルハウスを利用した木材乾燥	サウスウッド宮崎(協)
	スギーオウシュウアカマツ異樹種集成材	ウッドエナジー(協)
	五ヶ瀬ワイナリー屋外ステージ	五ヶ瀬町、(有)小嶋凌衛建築設計事務所
	椎葉村庁舎	椎葉村
	4	件
平成 24年度	オビスギノートの開発	宮崎マルマン(株)
	テーパーねじの開発	(株)タツミ、東日本パワーファスニング(株)
	スギ3層合わせ材の開発	ナイス(株)、(有)サンケイ
	3	件
平成 25年度	大径材からの心去り平角材の製材技術	都城木材(株)、高嶺木材(株)
	スギ材等を活用した家具、学童机・椅子の開発	宮崎県家具工業会
	テーパーねじを用いたテーブルの開発	九州の木になる木研究会
	スギーヒノキ大断面異樹種集成材の開発	ウッドエナジー協同組合
	4	件
平成 26年度	テーパーねじを用いた接合金物の開発	九州の木になる木研究会
	スギ心去り材の長期性能評価（変形増大係数）	宮崎県建築士事務所協会
	県産スギを利用したツーバイフォー部材の開発	(株)もくみ
	木造床の張弦梁の開発	宮崎県鉄構工業会、宮崎県建築士事務所協会
	4	件
計	57	件